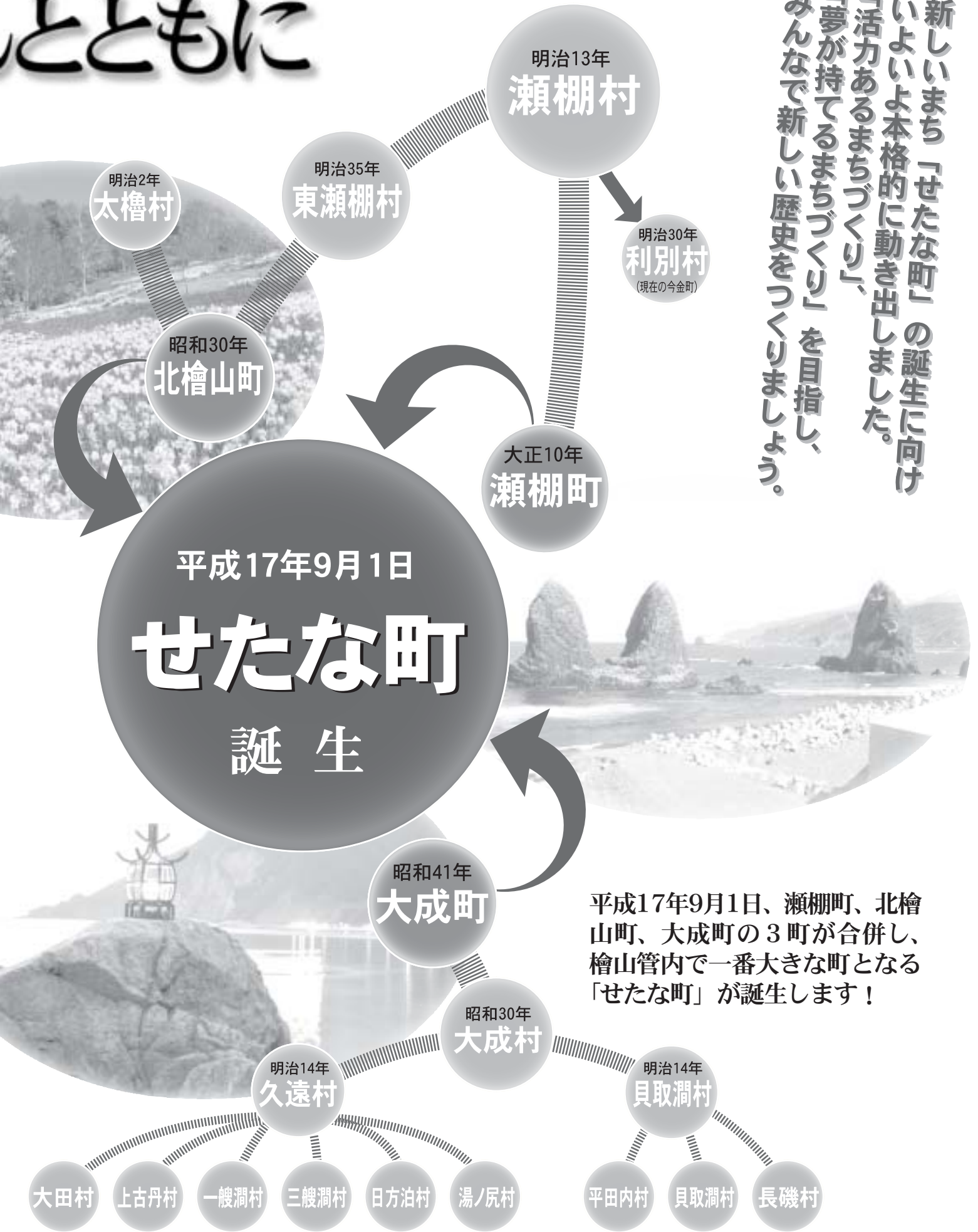


とともに

新しいまち「せたな町」の誕生に向けて
「活力あるまちづくり」、
「夢が持てるまちづくり」を目指し、
みんなで新しい歴史をつくりましょう。



平成17年9月1日、瀬棚町、北檜山町、大成町の3町が合併し、檜山管内で一番大きな町となる「せたな町」が誕生します！

新しい歴史と夢を皆さん

これまでの経緯

平成15年	
2月7日	檜山北部4町長会議にて任意合併協議会を2月をめぐりに設置することで合意
2月25日	檜山北部4町合併問題協議会設置（会長：大成町長）
～8月13日	第1回～第4回合併問題協議会
8月31日	市町村合併講演会の開催（大成町町民センター）
9月17日 ～12月26日	第5回～第8回合併問題協議会
平成16年	
1月22日	第9回合併問題協議会 今金町が離脱 法定協議会設置協議
2月20日	第10回合併問題協議会
3月25日	第11回合併問題協議会
3月8日 ～19日	「檜山北部3町合併協議会設置」に関する3町の議決
4月1日	「檜山北部3町合併協議会」設置
4月7日	第1回合併協議会（北檜山町）
4月23日	第2回合併協議会（瀬棚町）
5月14日	第3回合併協議会（大成町）
5月28日	第4回合併協議会（北檜山町）
6月25日	第5回合併協議会（瀬棚町）
7月23日	第6回合併協議会（大成町）
8月27日	第7回合併協議会（北檜山町）
9月24日	第8回合併協議会（瀬棚町）
10月8日	第9回合併協議会（北檜山町） 町名が「せたな」に決定
10月22日	第10回合併協議会（大成町）
11月10日	第11回合併協議会（瀬棚町）
12月7日	合併協定調印式（北檜山町）
12月21日	第4回定例議会で合併に係る関連議案を議決

瀬棚の合併論議の歴史

昭和29年2月に檜山支庁管内町村合併促進委員会から「太櫓村」、「瀬棚町」、「東瀬棚町」の対等合併を適当とする意見が具申されたことから、合併論議が行われることに。（昭和の大合併）

翌昭和30年2月に「三町村合併連絡協議会」を設置し、議論を進めたが「新町名」と「庁舎の位置」がまとまらず協議は難航。

その後、瀬棚町が町民大会を開催し、合併には基本的に賛成だが、庁舎の位置を瀬棚町にすることが絶対条件となったことで、それを大会の決議文として3月7日に開催された第3回の連絡協議会へ提出。それにより3町村の合併が困難となり、協議会は解散。

後日、太櫓村と東瀬棚町が合併し北檜山町が誕生。

柴崎庄次郎さんにお話を伺いました

昭和30年当時の町議会議員で、現在もご健在なのは柴崎さんお一人です。それから50年、3町による合併が決まり、その当時を振り返りながら新町「せたな町」に寄せる思いを語っていただきました。

－当時の瀬棚の状況は？

とにかくお金がなかった。私が町議になった昭和22年から8年間に、町長が5人も替わるほどだった。このままでは瀬棚町がなくなってしまうという危機感が強かったな。

－結果的に合併しませんでしたか？

やはりお互い自分の町に対する思いがある。瀬棚はこのままでは衰退するという雰囲気があったから、役場庁舎をを主張したが意見が合わず協議が終了した。町民大会では、ほとんどが合併反対だったな。

－厳しい財政の中でやっていけましたか？

昭和31年から7年間、財政再建計画により建て直しを行った。議員定数も減らした。一番つらい時期だったが、何とか持ち直したな。

－あれから50年。今回の合併について？

いずれはこんな時代が来ると思っていたが、当時と今で大きく違うのは、役場の仕事の量だ。これからもどんどん増えてくる。先のことを考えたら、ある程度力をつけることが大事だ。

－新町に期待することは？

そりゃ、高齢者が暮らしやすいことが一番だが、みんな仲良くやっていくという気持ちが大切。自分のことだけでなく、町全体のことを考えなければだめだね。このまま健康ならあと40年生きられるらしいから、楽しみにしている。

柴崎さんのお話は2時間を超えました。今回は、ほんの一部しかご紹介できませんでしたが、今もなお情熱あふれるお話を伺うことができました。ありがとうございました。



柴崎庄次郎氏 ●大正2年3月16日生（91歳）●元浦1区在住●瀬棚町議会議員として昭和22年から昭和55年までの9期33年間在職（うち副議長4期16年間）●昭和55年瀬棚町功労表彰を受賞●現在も瀬棚町及び檜山管内老人クラブ連合会会長とあわせ北海道老人クラブ連合会の理事として活躍中である。